

平成17年11月11日

## 土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	土木構造物荷重指針連合 小委員会	委員長 (分科会長)	古田均	小委員会 幹事	村越 潤 (連絡幹事)
活動予定期間	平成15年5月～平成18年3月				
活動の目的	<p>構造工学委員会、コンクリート委員会、鋼構造委員会、地震工学委員会、地盤工学委員会による連合小委員会として、平成15年5月に正式に発足(委員32名)。</p> <p>以下のコンセプトの基に、土木分野で広く利用できる荷重指針を作成する。</p> <p>(1)性能設計体系を前提とした荷重指針  (2)「土木構造物荷重指針の枠組みとガイドライン(2000/8)」の提案した荷重算定の主要要因，すなわち荷重因子の統計データを示し，統計データの処理方法も示す。  (3)建築の荷重指針の動向と関連させながら作業を進める。</p>				
これまでの活動状況	<p>14回の委員会、3回の幹事会を開催。</p> <p>荷重指針の策定方針を中心議題として下記のとおり審議。</p> <p><u>準備会合、第1回委員会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築学会荷重指針等との比較、論点整理</li> <li>・荷重因子概念</li> </ul> <p><u>第2～4回委員会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野からみた荷重・作用の扱い。</li> <li>・指針の目次構成</li> </ul> <p><u>第5～7委員会</u></p> <p>土木構造物荷重指針本編第I部一般論の原稿案の提示。  本編第II部荷重・作用各論のWGの立ち上げ</p> <p><u>第8～10委員会</u></p> <p>各種作用の整理、各論の目次案</p> <p><u>第11～14委員会</u></p> <p>第II部各種作用(地震、風、走行作用等)の原稿案  第I部一般論・付録の原稿案</p>				
今後の活動計画 と 目標とする成果	<p>当該小委員会は3年間の活動を予定。指針本体の作成作業のみならず、講習会開催や、構造工学シンポジウム等への「荷重・作用」部門提案など、幅広い活動も併せて計画当中である。</p>				
その他	<p>活動状況は、小委員会HP (<a href="http://www.jsce.or.jp/committee/st/kajuu">www.jsce.or.jp/committee/st/kajuu</a>)で随時公開中。</p>				